

Pastor J.D. Farag 2019 9.15  
人々への接し方（新約聖書：コロサイ人への手紙 4章5～6節）

<https://www.youtube.com/watch?v=ZXfeFMJFleE&t=7s>

御言葉に入っていきます。コロサイ4章・・・すみません。今日は、5節と6節のたった2節だけです。聖書を開きましたら、出来ればお立ちになって、私が読む箇所について来てください。使徒パウロは、聖霊によってこう書いています。5節から。

#### コロサイ4

**5 外部の人に対して懸命にふるまい、機会を十分に生かして用いなさい。**

**6 あなたがたのことが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。**

共に祈りましょう。天の愛なるお父様。あなたの言葉を感謝し、そして今朝、私たちの前にあるこの箇所を感謝します。私達が強く意識する事は、聖霊がいなければ私たちは集中できず、あなたが今日私達に語りたい事を逃してしまうという事です。だから、私達が完全に集中できるようにあなたが助けて下さい。そうすれば、私たちの思考が散漫しませんから。そうすれば、あなたが、あなたの言葉を通して、私たちの人生に語る事が出来ますから。私達はこれを求めます。

イエスの御名によって、アーメン。

どうぞお座りください。今日皆さんにお話ししたいのは、「私たちが神の人々として、他の人々にどう接しているのか」特に、未信者の方々に対して。その理由は、この2節の中で、パウロが私達に熱心に説いているのは、私達が他人に対してどうふるまうかが、どれほど重要かという事だからです。

私がいつも、日曜日の説教の準備をする間にやっているように、祈る時間をとりました。聖句について主に伺い求めます。そして、教える上で、この箇所をどうアプローチすべきかと。そして今週、私のはっきり分かり、感じた事は、主が私に「質問シリーズ」という方法で、アプローチさせたいという事です。なので、この2節から5つの質問を出します。これらの質問には、私達の一人ひとりが答えるのが賢明でしょう。では、5節の最初の部分から1番目の質問に入りましょう。

#### 「私は、クリスチャンでない人々と、賢く交流しているか？」

私が興味深いと思うのはこのすぐ前の箇所で、パウロが祈りを頼んでいます。はっきりと特定して、神が彼に大胆さを与え、神が福音の門を開いてくださるようと。彼が特定して、クリスチャンでない人々をキリストへと勝ち取る事についての祈りを求めた後すぐに、彼は今度は、クリスチャンでない人々をキリストに立ち帰らせるために、彼らに対して賢明に歩むようにと語っているのです。

それは、私達が、未信者に対して、神が門を開かれる事だけを祈るべきなのではなく、神がそうされた時に、私たちは未信者に対して賢明にふるまう必要があると、パウロは言っているのです。

2つの質問があります。私は、これはクリスチャンでない人がみんな持っている疑問だと思います。

彼らが聞きたい1つ目の質問は、「それは本物か？」

もしかしたら、こう聞いた方が良いかも知れません。「あなたは本気か？」

こう聞いた方が良いかも知れません。「あなたは本物か？」

そして、彼らの2つ目の疑問は、「キリスト教の生き方は、機能するのか？」

ちなみに、彼らは、キリスト教の生き方に機能して欲しいのです。そして彼らは、あなたが本物であって欲しいのです。彼らが、あなたの人生という手紙を読んでいるのにお気づきですか？彼らは、あなたがクリスチャ

ンとして、人生をどう生きているかを見ているのです。これが、第二コリントの手紙3章2節で、パウロが言っていることです。

## IIコリント3

**2 私たちの推薦状はあなたがたです。それは私達の心にしるさされていて、すべての人に知られ、また読まれているのです。**

未信者の人達は、いつもあなたを見ているのです。彼らは、あなたがストレスを受けている時に、どう反応するかを見ているのです。他の人々に対し、どう接するのかわ。ところで、これはイエス自身が仰るであろう事ではありませんか？未信者が、私たちがイエスの弟子であり、イエスに従う者であると知る方法は、私達の互いへの愛によります。言い換えるなら、私達がお互いに、どう接するか。

これが5節の中の2つ目部分からの2つ目の質問に、ぴったりはまります。

### 「私は、あらゆる機会と時間を最大限に活かしているか？」

理解すべき重要な事は、この「生かして(redeem)」という語には、価値があるという概念が付随します。割引券とか、なにか価値のあるものを、生かして使う(redeem)のと同じです。パウロが言っているのは、「時間は高価であって、それを惜みなさい。」「主があなたに与えている、あらゆる機会を活かしなさい。」ここで、覚えておいて欲しいのは、彼はこれを牢獄の中から書いているという事です。

地下牢の中で、彼自身がそこにいる間に、その機会を利用しているのです。私が思うに、パウロは、私たち皆が知るべき事を知っていたのです。それは、私たちがその瞬間をつかみ取るために、神がこれらの機会を設定されるのです。私達はまず、それに気づかなければなりません。時間というと、それはすごく平等なものです。そうではないですか？私達は皆、まったく同じ時間の量が与えられています。問題はこれではありません。問題は、「私達は時間をどうしているか？」「私達は、時間を無駄にしていないか？」私が告白しなければならないのは、これは私の人生で、主がすごく取り扱っている領域です。私はずっと、私の葛藤について、教会の皆さんにとってもオープンに話していますが、運転中のことについてです。神は運転中に、たくさん語ってくださいます。そして、問題は...

そういう時に、もしかしたらこれは何かの機会かもしれないと、私たちが気づかない事です。

あるコメンテーターが書いていました。スクリーンに映ります。これは興味深いです。

〈スクリーン〉『人生の6か月間は、赤信号での待ち時間である』

私は実際は、このような統計は好きではありません。気持ちがすごく落ち着かなくなりますね。一般的なアメリカ人は、人生の内6か月間を、赤信号を待って過ごしているのです。皆さん、カネオへの、リケリケハイウェイとカメハメハハイウェイの交差点にある停止信号を知っていますか？私は6か月間待ったように思いますよ。あれは、この島中で一番長い信号ですよ！皆さんが今までにやった事があるか分かりませんが、私は実際に時間を測りました。おや、あなたもやるのかもしれないですね。実際に、私は一度、あの信号の時間を測ったのです。私はそこに、2分以上いたのです。皆さんに知っておいてもらいたいだけですが、これは、私には呪いのようなものです。2分間...！座ったまま、赤信号を待つ...！？その時、主がこう語るのです。「おーい！」「この時間を最大限に活用したらどうかね。どうせ他に何もすることがないんだろう。」「祈ったらどうだ？」なんと良い考えでしょうか。私の習慣をお教えします。実のところ、私の最良の祈りの時間のひとつは、私の家から教会まで運転している時です。それは22分かかります。制限速度を守っている善良な市民として。22分ぐらいです。交通状況にもよりますが。これは、私が神と会話して過ごせるとても価値のある22分間なのです。その時間を祈りに費やし、神があなたに与えているすべての機会を、最大限に活かすのです。その時間を活用するのです。あなたが活用することの出来る時間。それは貴重な時間です。賢くそれを使いなさい。これがパウロの言っている事です。彼は、エペソへの手紙5章でこの事を繰り返しています。実にそれを

詳しく説明しています。特に15節から17節です。

## エペソ5

**15賢くない人のようにはではなく、賢い人のように歩んでいるかどうか、よくよく注意し、機会を十分に生かして用いなさい。**

これがその理由です。

## 16悪い時代だからです。

残された時間は多くありません。神が私たちに与える短い時間の中で、神が与える全ての機会を、私達が有効活用する 忠実な姿を見ていただくのです。彼は17節で続けてこう言っています。

## エペソ5

**17ですから、愚かにならないで、主のみこころは何であるかを、よく悟りなさい。**

言い換えれば、主のみこころは、私達が時間を活用し、賢く生き、とても注意深くあることです。

そして、すべての機会を最大限に使うことです。ここで次の質問です。3番目です。6節の始めの部分です。

### 「私は、恵みを豊かにし過ぎて、失敗するのか？」

なぜ私がこの質問をするのに、そのような尋ね方をしたかを説明します。パウロは、私たちの言葉に恵みがあるように、私たちの言葉が親切であるべきだと言っています。私達は恵み深く、親切である必要があります。特に、私たちがクリスチャンでない人と関わる時です。私が主との歩みの中で学んでいる事の一つは、特に牧師として、おそらく親としてはもっと、私が何を言うかとか、何をするかではなく、私がどのようにそれを言い、どのようにそれをやるかなのです。私は正しい事を言っても、間違っただけの言い方をすることがありえるのです。間違いを犯すのならば、私達は恵みを豊かにし過ぎて間違えなければならないのです。

私は親切にした事で、一度も後悔したことがありません。反対に、もっと恵みを示すべきだったと後悔した事が何度もあります。

ここで、4番目の質問です。これに少し時間をかけたいと思います。とても興味深いからです。質問はこれです。

### 「私の人と交わす会話は、慰めや励ましをもたらすのか？」

ここでパウロは、私たちの言葉が 親切なだけでなく、塩味のきいたものであるようにと言っています。

それは、その時代の文化では、今日の私達よりも もっとずっと意味のあることでした。

その時代の塩は非常に価値あるもので、実際、塩で支払いがなされる物もあったほどです。

そこから、they're worth their salt.という 言い回しが来ているのです（直訳：彼らは塩の価値がある）（給料に値する働きをするという意味。） なぜなら、ローマ帝国では 塩で報酬が支払われていたからです。それほど、高価だったのです。

私達の英単語の"salary/給料"は ラテン語の"salarium"から来ていて、"sal"とはラテン語で塩のことです。ここでパウロは、私たちの言葉が 塩味のきいたものであるようにと言っていて、彼が言っているのは、私達の会話が、塩と同じ効果を持つべきだと。塩の効果とは何か。塩は保存に効き、塩は味をつけます。塩は渴きを造り出します。たぶん、もっと重要なことですが、塩は治癒剤になりうるのです。これが、パウロがここで言っている事です。塩は、腐らせないようにします。防腐剤です。

塩は味をつけます。塩はいつも、渴きを造り出すのです。私達が人々と、特にクリスチャンでない人と話している時、私達の会話は、味のよい、塩気のあるピリッとしたものであるべきです。

ネガティブな辛辣という意味の塩気ではありません... 言いたかったことと全く違う意味に聞こえましたね。皆

さん、要点は分かったと思います。しかし、なおさらに、私達の言葉には、癒しや慰めや励ましをもたらす効果があるべきです。私達が人々と話す時には、得を高める作用があるべきです。

私はこれについて考えていました。このリストを見ながら、牧師として、教師として、これを私自身の人生に適應するために、模索していました。そして、主が私の注意をあることに向けさせたのです。

それは私が以前にも考えていた事ですが、私はいつも、自分が絶対にその罪を犯さないように 気をつけたいと思っていました。それは、この事です。私達が主について話をする時は、それが決して退屈なものであってはならない、ということです。それは味わいに満ち、喜びに溢れているべきです。

私が間違っているかも知れませんが、もしかすると、少し強い言い方も知れません。私がこれを言う時、皆さんが誤解されない事を願いますが、神の言葉を教える者が無味乾燥でつまらない時、私は、それは残念なことだと思います 味気がない。つまりそれは... なんでそんな風に私を見るんですか？

私はただ、神の言葉は とてもエキサイティングだと思うのです。そこに何の味気もない時、私は、それがとにかく悲しいことだと思います。それはただ、味気なく、退屈で、つまらないなんて。冗談でしょ?! 皆さんにお話ししなければならぬことがあります。そう言ったからには、もうどうしても お話ししなければなりませんね。私がカリフォルニアで、大学に入った息子の引っ越しをしていた時、私はある教会に行きました。教会の名前を伝える必要はありませんが。そこは、大学のキャンパスから近い教会で、私は息子が通える教会を見つけようとしていました。比較的小さな教会の、私達は後ろの席に座りました。まず初めに、誰ひとり、私たちに挨拶をする人はいませんでした。

週報もなく、挨拶係の人に自分から頼んで もらわなければならぬませんでした。まるで私が彼らに迷惑をかけているような 感じさえ受けました。だから私はいつも、この素晴らしい教会の牧師である事は、特権だと言っているのです。今日のように、オンラインメンバーがこの教会を訪ねてくると、いつも決まって、こう言われるのを耳にします。「わあ、ここは本当に愛のある教会だ!」今こそが、この教会の牧師として皆さんに伝えておく良い機会だと思います。ありがとうございます。これほどにすばらしく、愛のある教会でいてくれることを感謝します。皆さんは牧師の職をものすごく 喜ばしいものにしてきています。敢えて言うことにしますが、大多数の牧師は、このようには言えません。

私にはこう言える特権があるのです。この教会の牧師であることは、喜びです。皆さんは本物です。皆さんは、愛のある人達です。そういうわけで、私たちは後ろに座っていて、とても居心地が悪いのです。私達は、キョロキョロと見回して... 私はいつもこうするのです。なぜなら、自分が牧師だから、誰が牧師なのか見つけようとするのです。だから私は見回して、「ああ、あの人であるはずはない。」とか、「あの人を見てみる。おお、なんてことだ...」時々、初めて来た人達が、私が講壇にあがる時に感じるように。実際にそういう事があったんです。私達が何年も前に、古い教会に居た時の事です。

初めて来た人で、誰が牧師なのかは知らなくて、ただ、この教会のことを聞いて、来てみたかっただけで。私の事ではなく、ただ教会のことを聞いて。それで、その人がそこに座っていて、私が講壇にあがった時に... 彼がこう言ったのです。「あなたがアナウンスをしていたので、私は、『この人がこの教会の牧師じゃなくて良かった。』と思ったのです。」

「そして、あなたが続けて話していたので、その時私は、あなたが牧師なんだと 気づいたのです。」  
私は、「どうもありがとう...」といった感じで。彼は戻って来なかったと思います。どうしてかは分かりませんが。なので、私たちが後ろに座っていて、その牧師は、お気の毒ですが、なんとというか、ただ控えめな男性で、多分、彼の気質なのでしょう。彼は、聖書を開きました。すると、そこはたまたま、私がとてもよく知っている 箇所で、私がすでに説教した事のある箇所でした。

彼が「皆さん、聖書を開いて」と言った時に、それがガラテヤだったので、私はとても興奮して、「やった!」と。そして... 私はとにかく、悲しい思いをしました。聖書の中で最も興奮する箇所の一つが、

何と言うか、それがまるで、告別式に参加しているような感じだったんです。話に付いて行くのが簡単ではありませんでした。それには味気が無く、何のおもしろみもない。そして... 私達はそこを去りました。私の息子は、この事については、まだ私のことを許してくれていないと思います。

それでその次に戻った時に、私はサンディエゴにある、レイ・ベントレー牧師のマラナタ・チャペルに彼を連れて行きました。少し遠いですが、まあ、あそこに行って本当に良かったです。少し話がそれましたが、もう一つだけ言わせてもらいましょう。私達信者が、未信者と話をする時、私たちに、塩味や、喜び、感動、情熱のような味気がなくて、そして、彼らが私たちの生き方を見るとします。

あなたは彼らに、こんな風に言うかもしれません。「私と一緒に教会へ行きたくはない?」「イヤですよ。」そうでしょうか? それは、あなたが彼らを教会に誘うのを前提としての話です。何年も前の、本土に居た頃の実際の話の思い出しました。ある男性が話していた事ですが、彼の隣人が毎週末、彼にこう言うのです。

「やあ!私と一緒にゴルフに行かないかい?!」

彼はこう返事します。「いや、私は教会に行かなきゃいけない。」

「へえ、君は教会に行かなきゃいけないんだ?」—「ああ。」

そして彼は誘い続け、もしかしたらそのうち、彼と一緒にゴルフに行くだろうと考えたのです。

ついにある週末のことです。彼は言いました。「やあ!一緒にゴルフに行かないかい?」

—「いや、私は教会に行かないと。」実話ですよ。隣人が何と言ったと思いますか?

「ねえ、私はずっと君に、ゴルフに行かないかと誘い続けていたけど、」

「君は一度も私に、一緒に教会に行かないかと誘ったことがない。」

ああ...どれほど心に刺さる事でしょうか。皆さん、どうあるべきかを知ってますか。

私たちクリスチャンの人生には、渴きを引き起こす、とても特有な喜びがあるべきで、その隣人が来て、彼自らが、あなたの教会へ連れて行って欲しいと言うのです。そうです。「やあ!君がカネオへにあるあの教会へ行ってるって聞いたよ。」「新しい素敵で、アラブ人の牧師が叫んでいて...」

皆さん、要点は分かったと思います。私たちが話をする時、私たちの言葉は、親切であり、恵みに溢れるものであるだけでなく、塩味のきいたものであるべきです。時に、塩は少し、ヒリヒリと刺激させる事も出来ます。しかしそれは、癒しの特性なのです。時に、私たちはクリスチャンとして、主が私たちに与えている多くの機会を逃していると思うのです。では、次に進みましょう。私は本当に罪を示されましたから。

次に、5番目である最後の質問です。6節の3つ目の部分です。

なお、とても重要な質問です。

**「私は、私が持っている希望について、答えることが出来るか?」**

もし皆さんが私に、「多くのクリスチャンが自分の信仰のことを話さない主な理由の一つは何だと思うか」と質問するとしたら、これがその理由であると言わざるを得ません。そこには、「何と言えればいいのか分からない。」という恐れがあるのです。もしくは、

「もしも彼らが私に質問をしてきたらどうするんだ?そして答えが分らなかつたら?」

何が悲しいかというと、私にはできなくもないことなのですが、私はアメリカの教会を総合的に軽蔑したり、批判し始めたことはありません。しかし、私は、今日のアメリカの説教者たちを非難します。

なぜなら、彼らは御言葉を教えないからです。そのために、聖書を知らない無知なクリスチャンが居るのです。彼らは、どう答えれば良いのかが分からない。それらは知的な質問なんです。神は私達に知性を与えて下さっています。私たちには、神から与えられた知性があるのです。そして、私にとって悲しいのは、クリスチャン全体が、聖書的にとても無知で、そして、私はこれも言わなければなりません。"聖書全体を読んだことがないクリスチャンがどのくらいいるのか"という統計を、しばらく前に聞いた時、私は唖然としました。も

う一度言いますが、これに関して私の本音を聞いてください。私はこのことで皆さんの気に障ることを言うつもりはないのですが、皆さんは、盗まれています。

皆さん、何も盗まれたくないですよ？皆さん、盗まれてますよ。神の言葉、聖書の内にある豊かさを。木曜日の夜、私たちは箴言を学んでいます。箴言は31章あります。31日まである月がありますね。早い段階で、私はその月の日にちに相応する箴言の章を読むことを習慣にしました。31日までない月は、残った分の章も読むのです。例外なしに...これは、ミニストリーに携わる前の、ビジネス世界にいた時の事です。私は朝、御言葉に浸る時間をとっていました。そして例外なしに、特に箴言、箴言の知恵に関していえば、木曜日の夜お話ししたように、ビジネスと経済について書かれている最高の書は、箴言です。例外なしに、その日、私は私が神の言葉に浸った時間が、まさに自分に必要なものだったという状況に会うのです。私は、決断を迫られることになるからです。私がミーティングに参加していると、その時、神が、私とその朝に読んだ箴言を思い出させてくれるのです。たった一つの書で、ですよ。一つの書で。願わくは、私達が神の言葉に精通し、「もし私達が切られたなら、聖書が血のように流れ出よう」というほどになりたいものです。

私がクリスチャンとして、ましてや牧師として目指すところは、私が話す時、それが神の言葉のようであり、私が他の人の人生に、神の言葉を、励ましの言葉を語り、その人に祝福となり、彼らが探し求めている答えを与えるのです。彼らが探している答えとは何ですか？彼らは”希望”を探し求めているのです。そして、私たちにはその答えがあるのです。私たちにはその希望があります。締めくくりに、第一ペテロ3章15節から16節です。これは使徒パウロが書いている事の繰り返しになりますが、ペテロはさらに強調しています。聞いてください。

### 1ペテロ3

**15むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。**

**16ただし、優しく、慎み恐れて、また、正しい良心をもって弁明しなさい。**

私は隣の人と同じくらい罪があるのです。特に私が信者になって間もなかったころです。私はキリストのためにと不愉快なことをする人間でした。私はとにかく、すごく無礼でした。彼（ペテロ）はこう言っています。

### 1ペテロ3

**16優しく、慎み恐れて、また、正しい良心をもって弁明しなさい。そうすれば、キリストにあるあなたがたの正しい生き方をののしる人たちが、あなたがたをそしったことで恥じ入るでしょう。**

私は蔵書の中から、ある本を再読しています。フィリップ・ヤンシーが書いた古い本です。タイトルは『痛むとき、神はどこにいるのか？』その本の中で彼は、苦しみに関して面白い対比を描いています。

彼はヨブについてたくさん書いているのですが、それは、神がヨブの「なぜか」という疑問には決して答えなかったということです。神がヨブに語り掛けるのは、それに対するヨブの反応に関することのみです。こちらに、癌と診断されたクリスチャンがいて、こちらには、癌と診断されたクリスチャンでない人がいるとします。このクリスチャンには希望があります。希望のないこちらの人には、その希望が必要です。クリスチャンでない人達は、彼らが経験する全く同じ物事をクリスチャンがどう乗り越えるのかを見ているのです。パウロがコリントに手紙を書いた時に、こう言っています。

### IIコリント1

**4 私たちが、彼らと同じことを経験した時に神から受けた慰めによって、私たちは彼らを慰める事が出来るのだと。**

しかし、私たちはそうする時、彼らに 答えを与える事が出来なければなりません。そうすれば、私達にある希

望を、彼らも持つことが出来るのです。彼らが私達の人生を見る時、彼らは希望を見るでしょうか？彼らはこう見ているでしょうか？「わぁ、彼らは何か違う。」「彼らの対処の仕方は違う。」

「彼らはこれを経験していて、私も同じことを経験していて、彼らを見ているけど...」

「彼らには希望があるんだ！」「私には希望がない。あの希望が欲しい！」

私たちは、自分が持っている希望について、全ての人に答えを与える準備をしなければなりません。

祈りましょう。

天のお父様、感謝します。

このたった2節の中に、たくさんの事が詰まっています。

これらを教えるのに専念した時間が、ある意味ではまだ不十分だとさえ感じます。

なので主よ、聖霊によってあなただけが出来る方法で、ここからはあなたにお任せします。

私は最善を尽くしました。あとはあなたがなさってください。

これを私たちの心に、私たちの人生に適応するために、祝福してください。

主よ、私たちは本当にこう言われる者として数えられたいのです。

「彼らは人に対して、特にクリスチャンでない人に対しての接し方が本当に恵みに溢れている」と。

「彼らはいつも、彼らが持っている希望について答える準備が出来ている。」と。

主よ、感謝します。私達はまた、全ての機会を最大限に活かし、まだ時間がある間に、時を活用する者になりたいです。

イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージby JD Farag

牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記hukuinn7